

第1学年1組 図画工作科学習指導案

令和6年11月22日（金）第5校時
 場所 3階多目的室
 児童数 26名

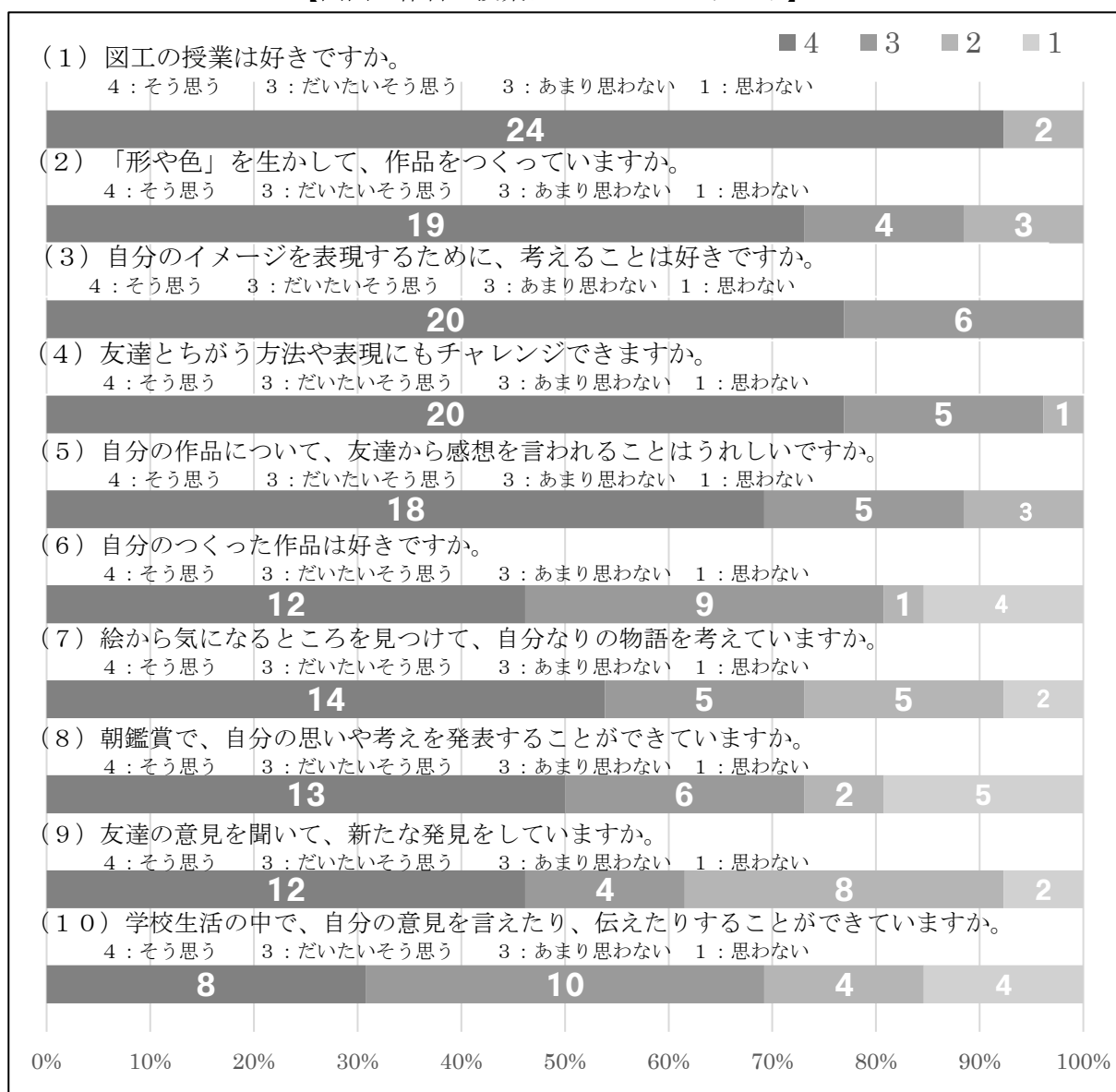
- 1 題材名 「いろいろならべて かさねちゃおう！」 造形遊びをする活動
 （A表現（1）ア、（2）ア、B鑑賞（1）ア、〔共通事項〕（1）ア、イ）

2 題材について

（1）児童の実態

本学級の児童は、図画工作科の授業が好きで、自分が表したいことを体全体を使って表している児童が多い。以下は、4月に行ったアンケートの結果である。

【図画工作科の授業についてのアンケート】



上記のアンケート結果の（1）より、9割以上の児童が図工の授業が好きなのが分かる。小学校

に入学してから間もない時期のアンケートであることから、幼稚園・保育園での経験が豊富であったことが伺える。

1年生になって取り組んだ図画工作科の授業では、アンケート（3）にあるように、自分のイメージを考えたり表現したりするためによく考えて活動している姿が見られた。造形遊び「スタンプぺったん」では、自分の表したいことに集中して、色や形を工夫していた。新しく思いついたことについては、友達に伝え合い、一緒に楽しむ姿も見られた。本題材においても、材料の置き方を工夫した場の設定をすることで、自分のイメージをもちながら表現したり、友達と思いを共有したりできる場にしたい。

授業では、自分の意見を発表したり、友達に伝えられる児童が多くいるが、アンケート（10）からは、自分の意見を言えたり、伝えたりすることができる児童が少ないことが分かる。相手の思いを聞いたり、理解したりすることが苦手な児童が見られる。本題材の中でも、自分の考えやイメージを伝えるだけではなく、友達の考えやイメージを聞くことができると、新しい発見ができ、活動が広がるのではないかと考える。

（2）学習指導要領上の位置付け

本題材は、学習指導要領の次の内容を受けて設定している。

- A（1）表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 造形遊びをする活動を通して、身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に造形的な活動を思いつくことや、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えること。
 - A（2）表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 造形遊びをする活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくること。
 - B（1）鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 身のまわりの作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な材料などの図形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。
- 〔共通事項〕（1）「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付くこと。
 - イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。

（3）本題材を指導するに当たって

本題材は、木材の形や色、大きさから、自分の思いやイメージをもち並べ方を考え、試しながら材料をならべたり、重ねたりする活動である。

知識及び技能の観点では、材料をならべたり組み合わせたりする活動を通して、形や色、並べ方の面白さに気付くことができるよう指導していく。今回は、木材を使ってどのような並べ方や重ね方があるのか試していく。手や体全体の感覚を働かせ、自分なりの表し方を工夫できるようにする。

思考力、判断力、表現力等の観点では、材料の形や色、大きさなどの特徴から並べ方を思いつき、どのように活動するのかを考えられるようにする。そのために、様々な形の木材を、種類ごとに分け、材料全体が見えるように配置する。自分がイメージしたことを表して遊んでいるうちに、児童同士が自然と交流しながら活動ができるような場の設定にする。

学びに向かう力、人間性等の観点では、自分が表したいイメージを見つけ、好きな並べ方をすることにより、学習活動に楽しく意欲的に取り組めるようにする。そのため、自分の思いを自然に児童同士で伝え合えるような場を設定する。会話を通して、自分のイメージの広がりを感じることができる考える。

題材を通した指導においては、木材を手にとっていつでも触れることができるようなコーナーを学年の廊下に設置する。常に材料に興味・関心を持ち、意欲を高めさせる。

また、第1時では、材料に触れて、木材の形や色、大きさを、児童自身の感覚や行為を生かしながら体感できる場の工夫をする。枝や、木片などの様々な木材から、自分が表したい並べ方や重ね方を考え、思いをのびのびと表現する。そのため、教室の端1辺に材料を見やすく広げて配置することにより、材料を選びやすくする。また、材料を手に取りながら、自然に児童同士がと対話ができる場の設定である。材料を触ったり並べたりすることを通して、手や体全体の感覚などを働かせ材料のよさを生かし、表し方を工夫できるようにしていく。

第2時では、自分や友達の形や並べ方を見て、さらに置き方や並べ方の表し方を広げ自分の持つイメージを完成させる。一人一人が表現したものを見て、その良さや楽しさや表現したものに込めた思いを語る時間を作る。

3 学校研究主題との関連

(1) 研究主題

「思い」を生かして、生き生きと表現する児童の育成

(2) 研究主題に迫る手立て

手立て①「材料や用具と向き合う時間」の設定と「児童の気付きに共感する働きかけ」(第1時)

(知識及び技能)

→事前に材料コーナーを教室に作り、日常的に手に取って触れるような環境を作るようにする。
→材料を、自分の思い通りに並べたり重ねたりできるように、並べたり重ねたりする方法がたくさんあることを考える時間をとる。

手立て②-1活動をつくるための「自己決定のきっかけづくり」(第1時)

(思考力、判断力、表現力等)

→思いに合わせて、材料を選択できるように、様々な形の木材を広げ、形を揃えて、見やすく配置し、手に取りやすくする。

手立て②-2自分の見方や感じ方を広げるための、「対話を生み出す」工夫(第1時)

(思考力、判断力、表現力等)

→活動場所を教室の中央に設定し、自然に対話したり鑑賞したりできるようにする。

手立て3つくりだす喜びを味わい、夢中に活動する児童を育成するための「語る」場の設定(第1時、第2時)

(学びに向かう力、人間性等)

→表現したものに込められた思いを語る場を作り、夢中に活動する時間から意味や価値を見出せるようにする。

4 題材の目標及び評価規準(※[共通事項]ア_____、イ_____)

(1) 題材の目標

- ・材料を並べたり組み合わせたりする時の自分の感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付く。
- ・木材に十分慣れるとともに並べたり組み合わせたりするなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくる。(知識及び技能)

- ・材料の形や色、大きさなどを基に活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するか考える。
- ・材料の形や色、大きさの並べ方やつなぎ方のよさや美しさを感じ取ったり考えたりし、自分の見方を広げる。(思考力、判断力、表現力等)
- ・材料の形や色、大きさなどに関心をもち、好きな並べ方を見つける学習活動に楽しく取り組む態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

(2) 本題材における評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<p>知いろいろな形や大きさの木材を並べたり組み合わせたりする活動を通して、形や色、並べ方の面白さに気付いている。</p> <p>技並べたり組み合わせたりするなど、手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫している。</p>	<p>発形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、いろいろな材料の形や色、大きさなどの特徴から並べ方を思い付き、どのように活動するか考えている。</p> <p>鑑形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、いろいろな材料の形や色、大きさの並べ方やつなぎ方のよさや美しさを感じ取り、自分の見方を広げている。</p>	<p>態いろいろな材料の形や色、大きさなどに関心をもち、好きな並べ方を見つける学習活動に楽しく取り組もうとしている。</p>

5 人権教育上の視点

お互いの個性を認め合い、発想や考えの多様性を尊重する心を育てる。【多様性の尊重 [態度]】

6 指導と評価の計画 (全2時間扱い)

○：指導に生かす評価、◎：全員の学習状況を記録に残す評価

学習のねらい・学習活動	評価の観点、評価方法等					備考
	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	知	技	発	鑑	態	
<p>1 (本時)</p> <p>・材料を見たり触ったりして、形や色に気付く。</p> <p>・材料を並べたり、重ねたり積み上げたりして、表したいもののイメージをもち活動の面白さに気付く。</p>	◎ 観察 対話	○	◎ 観察 対話		○	<p>・1時間目は「知識」と「思考・判断・表現(発想・構想)」の視点で、児童の学習状況を把握し、記録に残し、指導に生かす。</p>
<p>2</p> <p>・自分のイメージに合うように形を変えたり、材料などを組み合わせたりして、工夫して作りたいものを表す。</p> <p>・つくったものを見ながらよさや美しさを伝え合う。</p>	○			◎ 観察 対話	○	<p>・2時間目は「思考・判断・表現(鑑賞)」の視点で児童の学習状況を把握し記録に残す。</p> <p>・「主体的に取り組む態度」は、活動全体を通して、把握し最後に、記録に残す。</p>

7 本時の指導（1／2時間）

- (1) 目標 ・いろいろな形や大きさの木材を並べたり組み合わせたりする活動を通して、形や色、並べ方の面白さに気付いている。 【知識及び技能】
 ・形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、いろいろな材料の形や色、大きさなどの特徴から並べ方を思いつき、どのように活動するか考えている。 【思考力、判断力、表現力等】

- (2) 準備
 教師：木切れ、木片、割りばし
 児童：枝、など

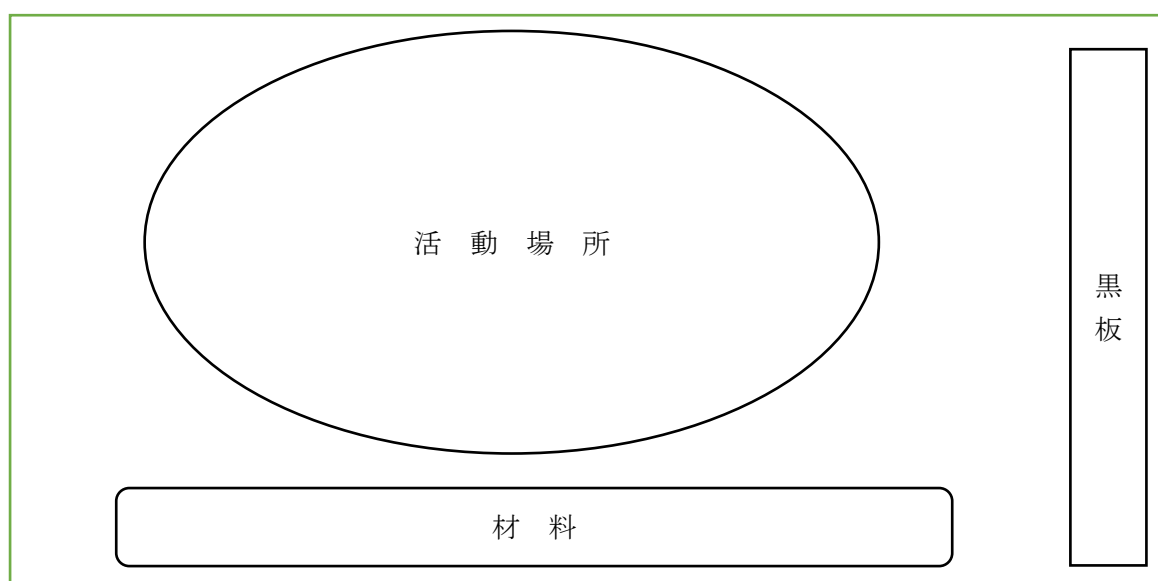
(3) 展開

過程 時間	学習の流れ T：教師の発問 C：児童の反応	○：指導の工夫 ☆：研究の手立てに係る内容 〔共〕：共通事項に係る内容 ◆：安全上の留意点	評価規準 【評価方法】
導入 5分	<p style="text-align: center;">提案 いろいろならべて かさねちゃおう！</p> <p>1 集めた材料について、形、色などの特徴を知り、本時の見通しをもつ。 T今日は、ここにある材料を並べて、遊びたいと思います。どんな風に並べたいですか。 Cこの木を倒して、その上に枝を乗せたい。 C丸い形と四角い形を順番に並べたい。 Tなるほど。いろいろな並べ方があって面白いね。今日はこの部屋全部使って遊びます。木がいっぱいあったら何がしたいですか？ C私は集めた木の枝を並べてみよう。 C僕は自分の高さまで積んでみようかな。 C私も並べたい、一緒にやろう！</p>	<p>○児童を前方に集めて、導入を始める。 ○工作ならないために、接着剤は使わない。 ○材料について形や色、大きさから話し合わせるようにする。 ○<u>材料の形や色、大きさなどを基に、自分のイメージを持つ。〔共〕</u> ○児童の自由な発想や構想を広げ、材料を使ってさまざまな表し方があることを確認する。 ○普段はしないような並べ方や重ね方で気付く思いがけない表現の面白さから、発想や構想が広げられるようにする。 ○材料を複数つかうことによっても、様々な表情があることに気付けるようにする。 ◆活動を始める前に安全指導をする。 「枝の持ち方」…縦に持って移動する。 「棘について」…刺さらないように持つ。 ☆<u>思いに合わせて、材料を選択できるように、様々な形の木材を広げ、形を揃えて、見やすく配置し、手に取りやすくする。〔手立て2-①〕</u></p>	<p>【知】いろいろな形や大きさの木材を並べたり組み合わせたりする活動を通して、形や色、並べ方の面白さに気付いている。 (観察、対話)</p>
展開 35分	<p>2 好きな場所で集めた材料を思いっきり並べる。 Tそれでは、好きな場所</p>	<p>☆<u>枝や端材などの材料置き場を教室の端にすることによって、中央で活動するとき、自然に友達の作品を見ることで友達の表現のよさに触れ、想像力の広がりを感じられるよ</u></p>	<p>【発】形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、い</p>

	で並べて、重ねてみよう。	<p>うにする。〔手立て2—①②〕</p> <p>○「並べる」「違う方法で試す」「重ねる」を繰り返すことで、イメージと合う表現を見付けられるよう十分に時間を確保する。</p> <p>○自分の感覚や並べる、重ねるという行為を通して、形に気付くようにする。〔共〕</p> <p>○活動を思いつかない児童には、並べてみたいものを聞き、何度も試せることを伝える。</p> <p>○活動が停滞してきたら、木材を追加させる。</p> <p>○表し方の面白さについて発表し合うことで、友達の表現のよさに共感させるようにする。</p>	<p>ろいろな材料の形や色、大きさなどの特徴から並べ方を思いつき、どのように活動するか考えている。</p> <p>(観察、対話)</p>
整理 5分	<p>3 活動の振り返りを行う。</p> <p>T 今日やったことで何が面白かった。どんなことが楽しかった。</p> <p>C 自分の背より高く積み上げることができました。</p> <p>C どんどん並べていたら、友達とつながりました。</p> <p>4 次時の流れを確認する。</p>	<p>○本時で表現できた自分の思いを発表することで、他の児童の表現の幅を広げられるようにする。</p> <p>○次時には完成させてお互いの鑑賞をする。</p> <p>○次回の授業の見通しをもつことができるようにする。</p>	

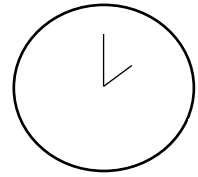
8 場の設定

- ・手や体全体の感覚を十分働かせることができるよう、床の上で活動できるようにした。
- ・思いに合わせて、材料を選択できるように、様々な形の木材を広げ、形を揃えて、見やすく配置し、手に取りやすくする。



9 板書計画

いろいろならべて かさねちゃおう!



まで

だいたいけいかく

1	いろいろならべてかさねちゃおう!
2	かつどうをつたえあおう